



1月8日(日)、大崎町研修センターグラウンドで平成24年消防出初式が行われました。

当日は、町内の7分団から、団員200名が参加し、規律訓練と操法訓練が行われました。

操法訓練では、小隊動力ポンプの部、自動車ポンプの部が行われ、訓練の成果が競われました。

訓練終了後、東町長を先頭に上町、三文字商店街を経由し、役場まで市パレードを行い火災予防を呼びかけました。

市中パレード終点の役場駐車場では、放水訓練が行われ、合図とともに役場庁舎へ一斉に放水が行われました。

その後、中央公民館大ホールに場所を移し、式典が行われました。

消防殉職者に黙とうが捧げられ、町長による出初式講評、表彰伝達が行われました。

講評では、「日頃の鍛練の成果を遺憾なく発揮され、心強い。昨年の火災出場件数は17件で、うち建物火災が5件でした。しかしながら延焼を食い止める被害を最小限に抑えられたのも、ひとえに皆様の迅速な活動によるものであり感謝に耐えられません。今後も住民の生命・財産を守るため、新たな決意でご支援ください。」と話されました。

表彰伝達では、消防業務に貢献、尽力された各団員への表彰があり、これまでの功績が称えられました。

最後は、参加者全員で万歳三唱を行いました。今年一年の地域の安心・安全を願いました。



つけましたか?



## 住宅用火災警報器

建物火災の早期発見に大変有効な住宅用火災警報器を取り付けましょう。